

日立工機は工場内で再雇用せよ

「日立工機は法を守れ」の声、職場・地域に広がる

常識を逸する「仙台行き」に固執した職務提示！

工場内での再雇用を求めてがんばっている佐和工場勤務の堀啓一さんは、本日、3月19日定年退職を迎えます。

日立工機はこの期に及んでも「仙台東北支店での仕事が最終の職務提示」の態度を変えず「マッチングできなければ時間切れで「再雇用なし」で済ませようとして

ています。

誰も受入れられない、定年後に転居・単身生活を押し付けるような職務提示は最初から再雇用をあきらめさせる「いやがらせ」です。

日立工機の常識を逸したこのやり方は、極めて悪質です。

「再雇用なし」に職場から怒り・不安の声！

再雇用がかなわずに退職したOBは、「希望を出したが、今の職場にも、工場全体にも仕事はないと言われ、あきらめた」「仕事量がないと言つ事で、ダメだった。時期が良くないと言つても本人にとっては大問題だ。制度が会社の都合の良

いように使われている」と怒りの声。

現役の労働者からは「自分も半年後に定年になるが、再雇用は無理なのか。長年会社のために働いてきたのに」と不安の声があがっています。

勝田労連が会社に要請、県議会でも是正を求める！

日立工機の再雇用問題は職場から地域の問題へと広がっています。

ひたちなか市の地域労連である勝田労連は、地域の雇用を守る立場から数回にわたって日立工機に要請を行ない「安心して働ける再雇用を実現せよ」訴えてきました。

茨城県議会では、日本共産党の山中たけ子議員が日立工機の再雇用問題を取り上げ「無理な条件を押し付けて再雇用できないようにしているのは高年齢者雇用安定法の趣旨に反する」とたたきました。知事は「茨城労働局と対応を検討する」と応えました。

茨城労働局、ハローワークも調査・是正の指導！

日立工機のこの一年間の再雇用者数は、

退職者80名に対しわずか5名で、工場内での再雇用者はゼロ（会社説明）とのこと。これは、他の日立グループ企業との8割以上が再雇用からみて異常な実態

です。茨城労働局、ハローワークは、日立懇や勝田労連の要請、県議会の動きに呼応して、日立工機に調査に入り、是正の指導もしています。

日立工機は、社会的な審判を受ける前に解決を！

堀さんは「日立工機が提示した職務提示は「高齢法」の趣旨に反しており、職務提示に値しない。したがって、安心して働ける職務が提示されるまで雇用関係は継続する」とした。地位保全の内容証明書を弁護士を通じて日立工機本社に送付しました。

日立工機がこのままの態度を取りつづ

す。日立工機は、企業の社会的責任を果たし法律を守る立場で、直ちに解決を図ることが求められています。

再雇用が実現するまでたたかいます

また職務提示のなかった1月15日以来、職場・地域の多くの皆さんのご支援をいただき、毎週の門前、駅頭での宣伝、会社要請行動をおこなってきました。何としても工場での再雇用を実現させるため、全力を集中してたたかい貫く決意です。引き続きご支援よろしく願います。

日立工機佐和工場勤務 堀 啓一

日立懇

<発行> 2010年3月号外

<日立・勝田地区版>

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

(電機労働者懇談会気付)

TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

http://www.hitachikon.net

Eメール info@hitachikon.net

最寄の連絡先 090-6142-6153(堀)